

広報部会がおじゃましま～す

Vol.09

Company interview!

今回の取材は
有限会社藤井ピアノサービス
鹿児島県薩摩川内市西向田町15−11

創立と事業内容

薩摩川内市出身の藤井社長は元々ピアノと全く縁がなかったとのことです。自動車修理工場に勤務していたことから、ピアノ販売店を始めた高校時代の音楽の先生より、「ピアノを修理してくれないか」と声がかかったそうです。「楽器の街」浜松市のピアノ修理工房で働き始め、修理から調律や営業まで十二分に経験されました。『お客様中心で物事を考え、お客様のためになる』活動をしたいとの想いより帰郷し、1985年12月8日に藤井ピアノサービスをスタートされました。

ほぼ全てのメーカーのピアノを販売・調律・修理・廃棄までされています。

ピアノは販売して終わりではなく、その後調律や修理をすればずっと受け継がれていくもの。オープン前日にピアノを購入されたお客様がいらっしゃったため、「お店をつぶさない、継続させる」ことが当初からの目標になったそうです。

グランフィールについて

藤井ピアノサービス様の代表的な技術の一つが『グランフィール』です。家庭で一般的なアップライト（縦型）ピアノに取り付けることで、グランド（平型）ピアノ並みのタッチや音色を得られる装置です。

1989年より鹿児島県の子どもたちのピアノ演奏技術向上のために、コンクールや勉強会を主催していました。しかし、それだけでは技術向上に足りず、グランドピアノを弾くコンクールで実力を発揮できない一因は、アップライトピアノで普段練習しているからと気づかれました。そこで、新たな技術の開発を考えるようになったそうです。浜松の工房でピアノの原理原則を理解できたからこそ生まれた技術とおっしゃっていました。

2009年に完成した『グランフィール』は多くの人に認められ、日本の特許を取得し、「ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞」や「日本発明振興協会会長賞」も受賞。さらにヨーロッパやアメリカ、中国でも特許を取得されています。

また購入後のお客様のことを考え、技術を一人占めすることなく、全国にいるお弟子さんに取り付け技術を教えているそうです。

そして、もともと後付けの装置でしたが、『グランフィール』が組み込まれたオリジナルのピアノも作っていらっしゃいます。



今後について

今していることが少しずつ世の中に伝わっていけばいいと思われています。事業を受け渡す時期なので、今の形に固執することなく、次の世代にはその時代の感覚で仕事をしていってほしいと言われていました。

ピアノの販売・修理で終わることなく、「ピアノを通して、より良い人生のコツを伝えたい、楽しんで努力できるように教えていってほしい」との言葉が印象的でした。



ピアノリサイタルのお知らせ



出演者 野原みどり 氏
日 時 2024年 8月31日(土) 15:00開演
会 場 未定 ※詳細は藤井ピアノサービス様へお問い合わせください！

取材してみての感想





永瀬　由里子
株式会社川北電工

取材の最後に、藤井社長が「グランフィール」ピアノを弾いてくださり、その音色や音の響きの違いや素晴らしさに圧倒されました！
8月にコンサートがあるそうなので、ぜひたくさんの方に聴いていただきたいです！！



川畑　志織
事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会

今回取材をさせていただき、調律師になった経緯やグランフィールピアノ誕生の話などを聞き、スケールの大きさに驚きました。最後に見せてもらった憩いの場所も素敵で、行きたいなと思いました！

※「広報部会がおじゃましま～ス」は事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会に加入している企業へ取材しています。

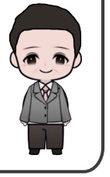
薩摩川内市にいてよかった！来て良かった！／事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会
Kirenkyo NEWS
2024.05 VOL.16
発行：広報部会

■設立7年目特別企画 ■行事・イベント報告 ■information ■各部会の今期目標 ■広報部会がおじゃましま～ス

設立7年目
特別企画

当協議会について 代表理事へ質問しました!!

気になる！ 知りたい！ 教えて！



企連協の誕生の経緯について教えてください。

東日本大震災と入来町にある富士通の撤退等により、企業誘致も難しくなり、地元企業による産業振興を図るために、薩摩川内市が企業連携協議会を発足しました。

最初は市役所の職員と私で市内の企業を一社ずつ周り、現状の聞き取りと加入案内をしていきました。



▲第5期通常総会後の交流会(2023.5.26)



◀第5期通常総会(2023.5.26)

設立して良かったこと、成功したことについて教えてください。

設立して良かったことは、企業同士の連携が生まれ、困ったことなどの共有が図れたことです。

反省があるとするなら、末端まで行き届いていないので、今後改善していきます。



田中代表理事が考える企連協の強みについて教えてください。

情報などの共有と効率化、技術改革と競争力の向上、リスクの分散化、組織の多様化などについて異業種の企業が連携することで、それぞれの価値観で交流が図られます。

中でも人材確保など企業の現状を共有できることです。

今後の展望についてお聞かせください。

企業間連携をなお一層深めて仲間を増やし、中小企業が抱える問題を少しでも解決していきます。

「この街にいてよかった。来て良かった。」と言っていただけるよう、企業連携で街を変えていきます。

入会を検討中の企業に向けてお言葉をお願いします。

共同求人、教育・情報、共同販売、外国人技能実習受入れなど、多様な事業を展開しております。異業種の多数の企業が連携しあって少しでもお役に立てればと思っております。是非ご加入を宜しくお願い申し上げます。



代表理事
田中 博 氏

プロフィール
1957 大阪生まれ
1676 東京へ就職
1983 鹿児島薩摩川内市移住
2011 企業の社長となる
2018 企業連携協議会代表理事

SS.kirenkyo
薩摩川内市にいてよかった！来て良かった！
事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会
薩摩川内市天辰町2211番地1 国際交流センター
☎0996-41-3850 📠0996-41-3860
HP facebook Instagram You Tube
薩摩川内市企業連携協議会

掲載記事大募集
事務局までご連絡ください。

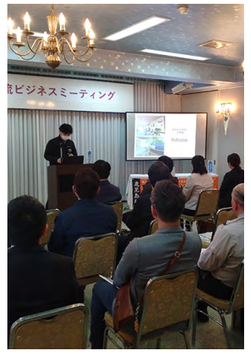
行事・イベント報告

◆第１回企業間交流ビジネスミーティング



3/14







事業連携推進部会が主催し、ホテルオートリで初めて開催しました。16社23名が参加し、自社の概要説明やＰＲのプレゼンをしました。どの企業も時間をオーバして説明するほど意気込みがすごかったです。

その後、懇親会では、社名は知っていても意外と業務内容を知らないという方が多く、情報交換をする良い機会になりました。

企業間でのビジネスマッチングが生まれるように、今後も開催を続けていきます。ぜひご参加ください。

◆テクニカルショウ ヨコハマ2024


2/7～2/9

協議会では、２ブースに３社が出展しました。例年よりも来場者や出展者が多く、良い商談や情報交換ができたかと思います。今後につながることを期待しています。

◆「リスクマネジメントによる損失防止対策」


2/20

生産性向上支援訓練として、セミナーを開催し、１０名が受講しました。㈱さくら未来研究所の向江隆行社長をお招きし、仕事のリスクの予測や分析、グループワークでの研修などを行いました。

◆新入社員研修会


4/25

今回、新卒だけでなく中途採用を含めた９社３１名が参加しました。「社員としての心構え」や、例年希望の多かった「仕事と給与について」という新しい講義を加えた５講義を行いました。参加者からは「知らないことを知ることができた」という声がありました。

information（イベント・セミナー）

① 第８回ゴルフコンペ	② 学校と企業の情報交換会	③ 防災・減災対策フェアin薩摩川内
〈日付〉6月2日（日）	〈日付〉6月13日（木）	〈日付〉7月19日（金）、20日(土)
〈場所〉グリーンヒルカントリークラブ	〈場所〉SSプラザせんだい	〈場所〉SSプラザせんだい

各部会の今期目標

頑張ります！宣言

異業種の強みを生かして共通の課題を解決・改善していくために、交流を図りながら8部会で活動しています。

我ら令和の現場改善サポーター

現場改善部会

会員企業の現場を改善し、生産性向上のお手伝いをする。
部会員大募集中！

子供たちに、ものづくりの楽しさを！

ものづくりアカデミー推進部会

会員企業が講師となり、子供たちにものづくりの楽しさや面白さを伝えるために、少年少女発明クラブを運営していきます。

働き方改革から働きがい改革へ

人間関係を良くして働きやすい職場をつくる。

雇用労務改善部会

SNSを最大活用！

いつでも、どこでも気軽に情報発信をサポートいたします。

地域創造発信部会

観測機器の研究開発で新たな事業展開を目指します。

ICT導入部会

部会で開発している観測機をより充実させ、ニーズに合った機器の販売につなげたい。

企業連携協議会を広める！広報誌が会員外にも届くように！

広報部会

多くの人に見てもらえるように、広報誌をSNSに掲載して広めていきます。

企業間連携で新たなビジネスマッチングを！

企業交流を積極的に進め、企業間での新たな繋がり、事業展開を目指していきます。

事業連携推進部会

竹の魅力発見 ～薩摩川内市２０周年の節目の年に～

世界竹の日のイベントを通じて、地域資源である竹の魅力の再発見につなげます。

竹バイオマス部会

部会員募集中

当協議会には現在８つの部会があり、全部会で部会員※を募集中です。 ※業種の制限なし
どなたでも部会にご参加できます。少しでもご興味がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ　企連協事務局　☎:0996-41-3850　メール:jimukyoku@kirenkyou.jp

各部会の活動内容につきましては、部会を開いた翌週に概要をメルマガにて配信しています。